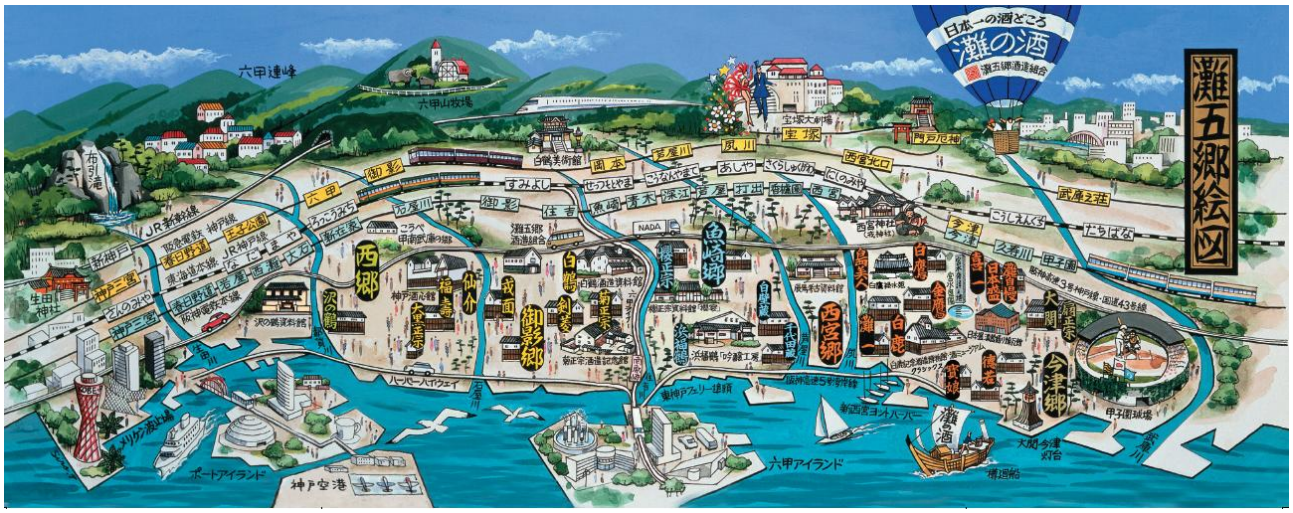
（参考）

※灘五郷について

神戸市の西郷・御影郷・魚崎郷と、西宮市の西宮郷・今津郷の五つの郷の総称で、酒造りに最適の「宮水」が湧き出るほか、酒造用原材料米の最高峰といわれる「山田錦」の産地も近いことから、「日本一の酒どころ」として栄えています。現在は、25 の清酒・みりんを製造する蔵元があり、全国の約 25%に相当する量の日本酒がこの一帯で製造されています。



※「灘の酒蔵」活性化プロジェクトについて

2017 年 10 月から「灘の酒蔵」の活性化に向けて、灘五郷酒造組合、神戸市、西宮市及び阪神電気鉄道が実行委員会の構成員となり立ち上げたプロジェクト。「灘の酒蔵」の魅力を効果的に発信する様々なプロモーション活動を行っています。

※日本遺産について

2020 年 6 月、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市（幹事市）の 5 市が申請し、日本遺産に認定された『「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷』が、このたび文化庁による審査の結果、本年 9 月に認定継続が正式に決定されました。

認定されたストーリーは、伊丹や灘の良質な酒が、酒輸送専用の樽廻船によって江戸に届けられ、「下り酒」として賞賛された物語を軸としたものです。

今後も引き続き灘五郷のお酒を日本遺産とともに国内外に発信していきます。

JAPAN HERITAGE
日本遺産

以　上